

指導者研修会



活動の安全～水の安全と救急法～
7月4日(水) 場所：福井県生活学習館



県キャンプのプログラムにラフティングでの川下りがあり、RACインストラクターである田中先生の研修は水に浮くことなど、安全の基本を教えてくださいました。不安で一杯だったけれど、この研修を受講して安心してキャンプにのぞむことができました。これからも、実践に沿った研修を望みます。

9団 森本早苗



野外での活動～ネイチャーゲーム体験～

9月2日(日) 場所：一乗滝ファミリーパーク小次郎の里

前半は”はじめまして”というインタビュー形式のゲームで始まり初対面のリーダーともスムーズに話すことができました。次のゲームでは、漆や蛇などの危険な動植物を実際に見ながら散策し、くずの花やみずひきの草など色々な種類の草花を教えてくださいました。後半はみんなで持ち寄った野菜でバーベキューです。ジャガイモのホイル焼きと梨を差し入れに頂き、釣った魚もおいしく食べ、楽しい充実した研修になりました。

1団 諏訪佐和子



バッジシステムを利用した教育方法と申請について

9月28日(金) 場所：福井県生活学習館

私がスカウトの頃、技能帯にびっしりとバッジを付けて県のギャザリングに参加していた他の団のスカウトを羨望の眼差しで、見ていたときの事を思い出しました。あのバッジはどうしたらもらえるのだろうか？ バッジの意味は？ あの頃の疑問を、今回の講習で長い時を経て払拭致しました。バッジの取得は『やくそくとおきて』の目標に向かって活動するための手段の一つではありますが、バッジを取得することは励みとなりバッジに対するリーダー自らの意識づけは、スカウト達への指導には大切なことだと感じました。今回のように、定期的な講習はスカウト活動への思いを奮い立たせる機会となり、福井県連盟の方々やトレーナーの方々には大変ご苦勞をおかけ致しますが、これからも研修や、ご指導よろしくお願致します。

18団 北川純子

